



学校だより

令和2年1月7日
No.10 1月号
横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

多様性の時代へ

校長 荒井 健

新しい年、令和2年が始まりました。今年も、子どもたちの活躍を期待しています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年の流行語大賞は、ラグビー・ワールドカップで日本代表が掲げた「ワンチーム」でした。年末にもメディア等を通じてこの言葉を何度も繰り返し聞くことができましたが、新年を迎え、改めてその言葉の価値の大きさを感じています。

この大会で、日本代表チームは、日本国籍の選手だけではなく、各国から日本を愛し集まったいろいろな国籍の選手も交えて編成され、大会を通じて文字通り「ワンチーム」となり、日本中に感動を沸き起こしました。その根底には、厳しい練習を重ねる中でも、「全ての面で、みんなが同じでなければならない」「全員を強制して一つの方向に向かせる」ということではなく、「一人ひとりの個性を生かすことで、いいチームをつくる」「目標を共有しながら、多様性を生かして進んでいく」という発想があったのだと思います。



さて、新年の新聞記事等を見ても、「これからの時代は、多様性の時代である」という内容のものが目立って前面に出ています。

小学校教育においても、「個を大切に」「個性を生かす」ということは近年意識的に取り組んできたことですが、それを「多様性を大切に」、「多様性を生かす」という言葉に置き換えて、さらに一歩踏み込んだ取組を進めることが求められている時代になったということを感じています。

本校においても、「多様性を生かす」ということを一つの柱として、これからの時代に求められる教育活動を進めていきたいと思っています。

今年の夏には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。各国から様々な選手が来日するこの大会を絶好の機会ととらえ、「多様性の大切さ」や「共生社会の実現」という大きなテーマについても学ぶ取組を進めていきたいと思っています。



今年も、本校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。